バージョン **10** リリース **1**
2017 年 **10** 月 **13** 日

IBM Campaign リリース・ノート

注記

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 33 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Campaign バージョン 10 リリース 1 モディフィケーション 0、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： Version 10 Release 1
October 13, 2017
IBM Campaign Release Notes

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 1998, 2017.

目次

第 1 章 IBM Campaign 10.1 のシステム要件と互換性 1
IBM Campaign の使用の前提条件 1
IBM Campaign の資料のロードマップ 2

第 2 章 バージョン 10.1 の新機能および変更点. 5

第 3 章 IBM Campaign 10.1 の修正された問題. 9

第 4 章 IBM Campaign 10.1 の既知の問題 19

第 5 章 IBM Campaign 10.1 の既知の制限 23

第 6 章 IBM Campaign Reports Package 27

IBM 技術サポートへのお問い合わせの前に 31

特記事項 33
商標 35
プライバシー・ポリシーおよび利用条件に関する考慮事項 35

© Copyright IBM Corp. 1998, 2017

第 1 章 IBM Campaign 10.1 のシステム要件と互換性

IBM® Campaign は、IBM Marketing Software 製品スイートの一部です。Campaign バージョン 10.1 には Marketing Platform 10.1 が必要です。

完全なシステム要件と互換性情報の保管場所

この製品と互換性がある IBM Marketing Software 製品バージョンのリストおよびこの製品に対するサード・パーティー要件のリストについては、「推奨されるソフトウェア環境と最小システム要件」という文書を参照してください。この資料は、IBM Support Portal Web サイト (http://support.ibm.com) の「詳細なシステム要件 (Detailed System Requirements)」の下にあります。

この資料には、IBM Marketing Software にログインしているときに、「ヘルプ」>「製品資料」を選択することでもアクセスできます。

IBM Campaign の使用の前提条件

IBM Campaign の使用を開始する前に、ご使用の環境が次の要件を満たしていることを確認してください。

- ユーザー・エクスペリエンスを向上させるには、最低でも 21 インチのスクリーンを使用します。
- ユーザー・エクスペリエンスを向上させるには、画面解像度を 1600 x 900 に設定します。それより下の解像度では、一部の情報が正常に表示されない場合があります。低い解像度を使用する場合、ブラウザー・ウィンドウを最大化してより多くのコンテンツが表示されるようにしてください。
- ユーザー・インターフェース間をナビゲートするには、マウスが最適です。
- ブラウザーのコントロールを使用してナビゲートしないでください。例えば、「戻る」や「進む」ボタンの使用は避けてください。その代わりに、ユーザー・インターフェースにあるコントロールを使用してください。
- ポップアップ・ブロッカー (広告ブロッカー) のソフトウェアがクライアント・マシンにインストールされている場合、IBM Campaign は正しく機能しないことがあります。最良の結果を出すには、IBM Campaign の実行時にポップアップ・ブロッカー・ソフトウェアを無効にします。
- 技術環境が最小システム要件とサポートされるプラットフォームを満たしていることを確認してください。*
- 適切なブラウザーとそのバージョンを使用している必要があります。*
- アップグレードやフィックスパックの適用後に、ブラウザー・キャッシュをクリアしてください。これは、アプリケーションを更新した後の 1 度だけ行う必要があります。
- Internet Explorer (IE) を IBM Campaign や、Campaign フローチャートを使用するいずれかのモジュール (eMessage、Contact Optimization、Interact、Distributed Marketing) と使用する場合: 情報を横並びに表示するために複数回ログインするには、IE を開いて IBM Marketing

© Copyright IBM Corp. 1998, 2017

Software にログインします。そして、IE メニュー・バーで「ファイル」 > 「新規セッション」を選択します。新規 IE ブラウザー・ウィンドウで、IBM Marketing Software に同じユーザーまたは別のユーザーとしてログインします。

重要: これ以外の方法で複数のセッションを開かないでください。例えば、新しいタブを開いたり、「スタート」メニューまたはデスクトップ・アイコンから別のブラウザー・セッションを開いたり、IE の「ファイル」>「新規ウィンドウ」を使用したりしないでください。これらの方法を使用すると、アプリケーションに表示される情報が破損する恐れがあります。

*アスタリスクが示される項目の詳細については、「*IBM Marketing Software Recommended Software Environments and Minimum System Requirements*」を参照してください。

IBM Campaign の資料のロードマップ

IBM Campaign では、ユーザー、管理者、および開発者向けの資料とヘルプが用意されています。

表 *1.* 稼働

作業	資料
新機能、既知の問題、および制約について調べる	IBM Campaign リリース・ノート
Campaign システム・テーブルの構造について学習する	IBM Campaign システム・テーブルおよびデータ・ディクショナリー
Campaign をインストールまたはアップグレードする	以下のいずれかのガイドを参照してください。 • IBM Campaign インストール・ガイド • IBM Campaign アップグレード・ガイド
Campaign により提供される IBM Cognos® レポートを実装する	IBM Marketing Software Reports インストールおよび構成ガイド

表 *2. Campaign* の構成と使用

作業	資料
• 構成およびセキュリティーの設定を調整する • ユーザーのために Campaign を準備する • ユーティリティーを実行し、メンテナンスを実施する • 統合について学習する	IBM Campaign 管理者ガイド
• マーケティング・キャンペーンを作成して配置する • キャンペーンの結果を分析する	IBM Campaign ユーザー・ガイド
フローチャート・パフォーマンスを改善する	IBM Campaign チューニング・ガイド
Campaign の機能を使用する	IBM Marketing Software の IBM マクロ

表 3. *Campaign* と他の *IBM* 製品との統合

作業	資料
IBM Engage	IBM Campaign および Engage 統合ガイド (IBM Marketing Cloud 用)
IBM Journey Designer との統合	http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSER4E/JourneyDesigner/kc_welcome_journeydesigner.dita?lang=en
IBM Digital Analytics との統合	*IBM Campaign* 管理者ガイド: 統合を構成する方法 *IBM Campaign* ユーザー・ガイド: キャンペーンの IBM Digital Analytics セグメントのターゲット化
IBM Marketing Operations との統合	IBM Marketing Operations および IBM Campaign 統合ガイド
IBM Opportunity Detect との統合	*IBM Campaign* 管理者ガイド: 統合を構成する方法 *IBM Opportunity Detect* 管理者ガイド と *IBM Opportunity Detect* ユーザー・ガイド: 製品の管理方法と使用方法
IBM eMessage との統合	*IBM Campaign* インストール・ガイドおよびアップグレード・ガイド: ローカル環境に eMessage の各コンポーネントをインストールして準備する方法。 *IBM eMessage* 起動および管理者ガイド: ホストされたメッセージング・リソースへの接続方法。 *IBM Campaign* 管理者ガイド: オファーの統合を構成する方法。
IBM SPSS® Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition との統合	*IBM Campaign* および *IBM SPSS Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition* 統合ガイド
IBM WeatherFX との統合	WeatherFX を IBM Campaign と統合して、天候イベントをマーケティング・キャンペーンにプルすることができます。Campaign バージョン 9 およびバージョン 10 のユーザーは、UBX ツールキットを使用して WeatherFX と統合できます。詳しくは、https://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSWU4L/Integrations/imc_Integrations/Weather_FX_for_IBM_Marketing_Cloud.htmlを参照してください。
注: この表にはリストされていない追加の統合を使用できる場合があります。 IBM Campaign の製品ツールおよびユーティリティー。 IBM Solution Engineering Projects も参照してください。	

表 4. *Campaign* 用の開発

作業	資料
REST API の使用	「IBM Campaign REST API」を参照してください
SOAP API の使用	• 『IBM Campaign SOAP API 仕様』を参照してください • `devkits¥CampaignServicesAPI` 内の JavaDoc
Campaign に検証を追加するために、Java™ プラグインまたはコマンド・ライン実行可能ファイルを開発する	• 「IBM Campaign 検証 PDK ガイド」を参照してください • `devkits¥validation` 内の JavaDoc

表 5. ヘルプの入手

作業	手順
IBM Knowledge Center の使用	http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSCVKV/product_welcome_kc_campaign.dita にアクセスします。
オンライン・ヘルプを開く	IBM Campaign アプリケーションを使用しているときに、以下のようにします。 1. コンテキスト・ヘルプ・トピックを開く場合は、「ヘルプ」> 「このページのヘルプ」を選択します。 2. ヘルプ全体を表示する場合は、ヘルプ・ウィンドウ内の「ナビゲーションの表示」アイコンをクリックします。 コンテキスト依存オンライン・ヘルプを表示するには、Web アクセスが必要です。 IBM Knowledge Center のオフライン資料へのローカルでのアクセスおよびインストールについて詳しくは、IBM サポートにお問い合わせください。
PDF の取得	IBM Campaign アプリケーションを使用しているときに、以下のようにします。 • 「ヘルプ」>「製品資料」を選択すると、Campaign PDF にアクセスできます。 • すべての製品 PDF にアクセスするには、「ヘルプ」>「**IBM Marketing Software** のすべての資料」を選択します。 • インストール・プロセス中に PDF のリンクをクリックします。
サポートの利用	http://www.ibm.com/ に移動し、「サポート **&** ダウンロード」をクリックして IBM サポート・ポータルにアクセスします。

第 2 章 バージョン 10.1 の新機能および変更点

IBM Campaign 10.1 には、いくつかの新機能と変更点が含まれています。

新しくサポートされるプラットフォームと、サポートが廃止されたプラットフォームのリストについては、「推奨されるソフトウェア環境と最小システム要件」という資料を参照してください。この資料は、IBM サポート・ポータル (http://support.ibm.com) の「システム要件の詳細」の下に投稿されています。

アップグレード・パス

バージョン 10.0 からは Campaign バージョン 10.1 に直接アップグレードできます。

Campaign バージョン 8.6.x、9.0.x、または 9.1.x を使用している場合は、まずバージョン 10.0 にアップグレードしてから、バージョン 10.1 にアップグレードする必要があります。詳しくは、「*IBM Campaign 10.1* アップグレード・ガイド」を参照してください。

オーディエンス情報のための IBM Engage の同期フィールド

テスト実行または実稼働実行を行うと、オーディエンス情報が IBM Campaign から IBM Engage にエクスポートされます。 E メール・プロセスおよびプッシュ・プロセスでは、オーディエンス情報の同期フィールドとして使用するフィールドを指定できるようになりました。

E メール・プロセスおよびプッシュ・プロセスの場合、デフォルトでは `campaignaudienceId` が同期フィールドとして使用されます。 SMS プロセスの場合は、電話番号が同期フィールドとして使用されます。

同期フィールドを設定するには、E メール・プロセスまたはプッシュ・プロセスの「フィールド・マッピング・タブ」に移動します。「**Engage** にエクスポートするフィールド」を選択し、マッピングを実行します。同期フィールドとして使用するフィールドの「同期」列をクリックしてチェック・マークを付けます。

新しい構成プロパティー: allowableFailurePercentage

新しい構成プロパティー `allowableFailurePercentage` が `Campaign | partitions | partition[n] | Engage` プロパティーに追加されました。

Engage でキャンペーン・コンタクト・リストを処理し、何らかの理由でコンタクトが失敗した場合は、Campaign にエラーが返されます。`allowableFailurePercentage` プロパティーにより、失敗したレコード数を許容する割合を指定できるようになりました。これを超えると、キャンペーン・プロセスはエラーになります。失敗したレコード数の割合が、構成された `allowableFailurePercentage` より大きくなると、プロセスはエラーになります。

失敗したレコード数の割合が、構成された `allowableFailurePercentage` 以下の場合、プロセスはエラーになりません。重複レコードは有効なレコードと見なされる

© Copyright IBM Corp. 1998, 2017

ので、プロセス・ボックスの allowableFailurePercentage に影響を与えません。有効なレコードはすべて Engage にインポートされます。

プロセスの警告およびエラーはすべて ImportErrors ログ・ファイルに記録されます。このファイルは定期的に削除できます。 ImportErrors ログ・ファイルは、<Campaign_home>/logs フォルダーにあります。

SMS プロセスおよびプッシュ・プロセスで CampaignAudienceID が Engage にアップロードされる

SMS プロセスおよびプッシュ・プロセスで CampaignAudienceID が Engage にアップロードされるようになりました。以前は CampaignAudienceID は E メール・プロセスで Engage にアップロードされていました。これはトラッキングの目的で使用されます。

「最新表示」ボタンが「フィールド・マッピング」タブに追加された

「最新表示」ボタン が E メール・プロセス、SMS プロセス、およびプッシュ・プロセスの「フィールド・マッピング」タブに追加されました。新しいフィールドを Engage データベースに追加したり、既存のフィールドを変更したりした場合に、このオプションを使用してください。

注: 最新表示が完了した後にすべてのフィールド・マッピングを確認する必要があります。

キャンペーン名のフィールド・サイズが 256 文字に拡張

E メール、SMS、およびプッシュのプロセスの「コンテンツのカスタマイズ」タブのキャンペーン名フィールドのサイズが 256 文字に増えました。これには、付加されるタイム・スタンプ、および接頭部として追加されるキャンペーン・コードが含まれます。キャンペーン名が 256 文字を超える場合、ユーザーが入力した名前が切り捨てられます。

「Engage プロパティー」タブの変更

E メール、SMS、およびプッシュのプロセスの「Engage プロパティー」タブの「単一のコンタクト・リストを使用」のデフォルトのオプションが、「一致するコンタクトを更新します。見つからないコンタクトを追加します」に変更されました。

テンプレートを選択するまでは「ただちにすべての連絡先に送信する」オプションが無効に

E メール、SMS、およびプッシュのプロセスの「コンテンツのカスタマイズ」タブの「ただちにすべての連絡先に送信する」オプションは、テンプレートを選択しないと使用可能になりません。

Campaign と Engage の統合ログ

Campaign と Engage を統合した場合は、<Campaign_home>/conf/ フォルダーにある campaign_log4j.properties ファイルに統合ログを設定できます。

クラスの名前は
log4j.logger.com.unica.webservices.campaign.rest.EngageImportService です。

ログは INFO、WARN、および DEBUG モードで収集されます。

このログ・ファイルは、<Campaign_home>/logs フォルダーにあります。

createCampaign API に追加された WSReference パラメーター

新しい WSReference パラメーターが createCampaign API に追加されました。このパラメーターを使用して、新規キャンペーンを作成するフォルダーを指定できます。

キャンペーンのフローチャートのコピー・アンド・ペーストのパフォーマンスの向上

多数の出力セルが存在する大きなフローチャートのコピー・アンド・ペーストのパフォーマンスが向上しています。

Campaign - Engage 統合エラー・ファイルのダウンロード

以前のバージョンでは、最初の試行で Engage から err ファイルがダウンロードされなかった場合、プロセスがエラーになっていました。現在は、最初の試行でファイルがダウンロードされなかった場合、プロセスがエラーになるまでに、ファイルのダウンロードが最大 5 回試行されるようになりました。デバッグ・レベルのログ・ファイルに、複数の試行に関する情報が含まれています。

マップされたユーザー・テーブルのフィルタリング

「テーブル・マッピング」ウィンドウに表示されるマップされたユーザー・テーブルをフィルタリングできます。マップされたユーザー・テーブルのフィルタリングにはテーブル名を使用できます。

選択プロセス・ボックスでは、選択プロセス構成ウィンドウの「選択可能なフィールド」セクションに表示される、マップされたユーザー・テーブルをフィルタリングできます。詳しくは、「IBM Campaign 管理者ガイド」および「IBM Campaign ユーザー・ガイド」を参照してください。

製品サポートのための新しいリンク

「ヘルプ」>「サポート」の下に、この製品用の新しいリンクが追加されました。そのリンクを使用して、IBM Knowledge Center にある製品の資料にアクセスできます。

第 3 章 IBM Campaign 10.1 の修正された問題

以下の問題は、Campaign 10.1 で修正されました。

表 6. *Campaign* の修正された問題

ID	修正された問題
178526	Campaign のインストールを中断してから再開すると、次のエラーが記録されます。Campaign_Install.log における、致命的ではない次のエラーは、無視してかまいません。 「com.unica.install.ia.custom.ManagerReadConfigurationStatus: ERRORAdditional 説明: エラー - class com.unica.install.ia.custom.ManagerReadConfiguration NonfatalInstallException "[xX][mM][lL]" と一致する処理命令ターゲットは許可されません。」
184919	ビッグデータ: 「メール・リスト」プロセスの実行が、ユニーク制約 (UCDUC9111.CCONTACTHIST_PK) 違反というエラーで失敗します。 ユーザー・データベース・テーブル - オーディエンス・レベルが BigInt の場合、「メール・リスト/コール・リスト」プロセス・ボックスの実行は正常に完了します。しかし、以下のことが言えます。 • ユーザー・プロファイル・テーブルに 10 進数形式のオーディエンス ID が含まれている場合に、このエラーは発生します。 • ユーザー・プロファイル・テーブルがファイルからデータベースへのエクスポートによって作成された場合、デフォルトでは、すべての数値フィールドが 10 進数として作成されます。 ビッグデータの場合: ユーザー・プロファイル・データベース・テーブルのオーディエンス ID は、 DB2 データベースで使用する場合、BigInt タイプである必要があります。ユーザー・プロファイル・データベース・テーブルのオーディエンス ID が 10 進数の場合、「メール・リスト/コール・リスト」プロセス・ボックスの実行でエラーが発生します。
APAR PO05193、196259	クラスター環境で、Campaign フローチャートを Marketing Platform スケジューラーで「今すぐ実行 (Run now)」にスケジュールし、フローチャート内から実行状況を表示した場合に実行状況が更新されません。
APRAPO05353、199729	サポート対象外のブラウザー・バージョンをユーザーが使用すると、クロス・サイト・スクリプトの問題が発生します。これは、サポート対象外のすべてのバージョンの Firefox、Internet Explorer、Chrome ブラウザーに当てはまります。
213372	抽出プロセス・ボックスで、一部の検索可能なフィールドを検索できません。「抽出」プロセス・ボックスで参照される「最適化」リストは、フローチャート拡張検索機能では検索できません。
219602	Engage: すべてのマップ・フィールドを同期フィールドとしてマークすると、プッシュ・プロセス・ボックスの実行が失敗します。プッシュ・プロセス・ボックスを実行すると、エラー・メッセージ「21901: 内部エラー。IBM Engage からエラーを受け取りました: リストのインポート実行中にエラーが生じました。詳細: 受信者の追加中および更新中にエラーが生じました。ジョブ ID:」を出して失敗します。 不要に多くのフィールドを同期フィールドとしてユーザーがマークすると、このエラーが発生します。Campaign でユーザーが同期フィールドとしてマークできるフィールドは、Engage データベースで同期フィールドとして許可されたものに限られます。

© Copyright IBM Corp. 1998, 2017

表 6. *Campaign* の修正された問題 (続き)

ID	修正された問題
APAR PO05520、225559	マップしたデータベース・テーブルに英語以外の文字を含む Campaign カスタム属性をエクスポートすると、属性値が切り捨てられます。
APAR PO06187、226297	プロセス・ボックス名の丸括弧「(」が、セル・レポートで単一の右大括弧「]」として不正確に表示されます。
226794	Campaign リスナーのサイレント・モードのインストールでは、`MasterListnerPriority` と `LoadBalancer` の重みづけ構成パラメーターが設定されません。 ユーザーが Marketing Platform 構成の下のこれらの構成を手動で設定する必要があります。
226975	すべてのリスナー・ノードの `masterListenerPriority` および `loadBalanceWeight` が同じ場合、Campaign Web アプリケーションは Campaign リスナーに接続できません。
PMR 218840, 228837	Campaign エラー 11107 の根本原因を特定できるだけの十分な情報がログ・ファイル内に記録されません。このエラーは、開いたプロセス・ボックスに、上流のプロセス・ボックスから削除された永続的なユーザー定義フィールドが含まれている場合に発生します。
APAR PO06410、228845	リスナー・クラスター環境で、スケジュールされたフローチャートがエラー 1783 で失敗します。
APAR PO06331、230046	セグメント・プロセス・ボックスのセグメントの照会で、右丸括弧の後に演算子を追加すると、丸括弧が表示されなくなります。ユーザーが照会行を選択して丸括弧を削除しても、その丸括弧は削除されません。
PMR 211651, 230546	セッション・データによってヒープが消費されるために、Campaign のメモリー不足エラーが発生します。
PMR 193502, 230553	Safari ブラウザーを使用する場合、テンプレート・メニューに多数のテンプレートが含まれていると、テンプレートのロードに、デフォルトの画面タイムアウトの 60 秒を超える時間が必要になることがあります。画面がタイムアウトになり、テンプレートはロードされません。
APAR PO05875、230555	ロケール設定をイタリア語に設定したユーザーがイタリア語のロケールでキャンペーンやフローチャートを作成すると、フローチャート・パレットが正しく表示されません。
APAR PO06554、231385	入力データを選択するためのデフォルトのディレクトリーが、`Campaign | partitions | partition[n] | server | fileDialog` で `defaultInputDirectory` として定義したディレクトリーではなく、`defaultOutputDirectory` として定義したディレクトリーに設定されます。
231396	クラスター環境で、スマート・オファー・リストをメール・リストに割り当てると、メール・リスト・プロセスの実行が失敗します。
APAR PO06582、231983	ユーザーがクエリー・ビルダーを使用してプロセス・ボックスの照会セクションに丸括弧を追加し、プロセス・ボックスを保存した後に式から丸括弧を削除しようとしても、括弧が削除されません。
232095	`advSrchUtil` コマンドで、深い検索のための索引を作成できないことがあります。`advSrchUtil` を実行する前に、IBM Campaign アプリケーションにログインして IBM Campaign ページに進まなければなりません。
PMR 231995, 232527	`createOffer` API を使用してオファーを作成する際に、オファー名に対する特殊文字の検証は行われません。
PMR 233720, 234297	抽出プロセス・ボックスの「抽出」タブの「選択フィールド」で、ユーザーがマウスを使用して特定のフィールドを選択した後に別のフィールドを選択してから、Up または Down キーボード・キーを使用すると、ユーザーが最初に選択したフィールドにフォーカスが移動します。

表 6. *Campaign* の修正された問題 (続き)

ID	修正された問題
PMR 195194, 234421	ロケールが fr_FR のユーザーがフローチャートにメール・リストを構成する際に、メール・リスト・プロセスの「パラメーター」タブに移動し、日付フィールド属性をパラメーター化すると、IBM Campaign が生成するフィールドのラベルが空になります。
APAR PO06485、234422	ユーザーはセッション・フローチャートの名前を変更できません。
234913	複数の入力セルが存在するメール・リスト・プロセスは、割り当てられている PDF を削除してもエラーになりません。
APAR PO06003、235307	テンプレート・ライブラリーからテーブルを貼り付けると、そのテーブルがリスト内の最初のテーブルにマップされます。
235602	Websphere 8.5.5.7 で Campaign アプリケーションが開始しません。
APAR PO06031、238206	ユーザーは「テーブル・マッピング」ウィンドウの「データ・ソース」列の幅を大きくすることができません。
238208	選択プロセスで AND/OR 演算子を変更すると、式の丸括弧が切り捨てられます。
APAR PO05898、239361	ロケールの設定がフランス語またはイタリア語のユーザーがサンプル・プロセスを開いて「サンプル・サイズ計算」をクリックすると、最小値と最大値が明滅し続けます。
239625	`dtlcontactHist` に対する ETL が失敗する場合は、ロギングが正しくありません。ログは `campaignweb.log` ファイルでも `EngageETL.log` ファイルでもなく `ETL.log` ファイルに保存されます。
239749	オファー・リストのオファー数が 1500 になると、アプリケーション・ユーザー・インターフェースのパフォーマンスが低下します。
APAR PO06850、240166	date_format マクロに値として 2 月 29 日の日付を渡すと、マクロが 334 (無効な引数のエラー) で失敗します。
241005	クラスターのセットアップ中に SPSS スコア・プロセスが失敗します。
241130	送信されたイベント・メッセージの ID が NULL の場合、例外が発生します。
241563	1 つの Campaign に 50 を超えるフローチャートがある場合は、ユーザーがタブを表示したり編集したりするときに、すべてのフローチャートをリストするために通常より長い時間がかかります。
242358	1 つ目のベース・テーブルまたは既存のディメンション・テーブルのディメンション・フィールドを使用すると、「テーブル・マッピング」ウィンドウの 2つ目のベース・テーブル・ノードの下にディメンション・テーブルが表示されません。
APAR PO06928、242661	`Campaign|partitions|partition1|dataSources|UA_SYSTEM_TABLES` の下のプロパティー設定 `DeleteAsRecreate` を `FALSE` から `TRUE` に変更すると、Contact Optimization セッションでエラーが発生し、テーブル UACO_OCT000000XX の再作成がエラー・メッセージ「`ORA-01727: 数値の精度指定が有効範囲 (1から38) 外です`」で失敗します。
PMR 242776, 243361	セッションで `sort` API を呼び出したときに、サーバーからの応答をまだ受け取っていないことがユーザー・インターフェースに示されません。
APAR PO06240、244938	選択プロセスで「選択基準」フィールドとして選択した表を、Campaign テーブル・マッピングで再マップし、テーブル名の大/小文字を変更した場合に、選択プロセスを再び開くと、「選択基準」フィールドが `None` に設定されています。ただし、照会では以前の表が使用されます。
APAR PO07037、245567	ユーザーが SMS プロセスで電話番号をアップロードすると、Engage の連絡先リストに電話番号ではなく顧客 ID がアップロードされます。ユーザーが電話番号と一緒にテキスト列をマップすると、テキストが電話番号フィールドに書き込まれ、プロセスが失敗します。

表 6. *Campaign* の修正された問題 (続き)

ID	修正された問題
APAR PO06278、246943	最適化プロセス・ボックスでオファーを割り当てる際に、オファーを割り当てた後に別のセルのオファー・フィールドをクリックすると、オファーの割り当てのセルが変更される場合があります。時折、オファー名の代わりにオファーの内部 ID が表示されることがあります。
APAR PO06791、247170	Campaign の「分析」タブ (「フローチャート・ステータス・サマリー」レポート) の項目が正しくソートされません。「前回実行日」や「作成日」などの日付タイプの列名をクリックしても、項目はアルファベット順にソートされたままです。この問題は、デフォルトの言語設定が英語 (英国) の場合に発生します。
APAR PO04374、265677	ターゲット・セル属性のドロップダウン・メニューのオートコンプリートが機能しません。
PMR 270879, 265684	数字で始まる名前のファイルに新しいテーブルをマップすると、エラーが発生し、テーブルをマップできません。
APAR PO06811、265686	選択プロセスで、ユーザーが「入力」から戦略的セグメントを選択しても、「選択基準」メニューが変更されず、`None` が表示されます。
APAR PO06314、265703	選択プロセス・ウィンドウで、ユーザーが「式」の値フィールドで特定の値を選択してマウス・ポインターをその値の上に移動すると、吹き出しヘルプ・ウィンドウに正しくない値が表示されます。
APAR PO06785、266372	Campaign - Marketing Operations 統合フローチャートでは、セグメント > セグメント > 最適化というロジックがある場合に、最適化ボックスでターゲット・セルの照合とリンクを使用して、公開済みの TCS からトップダウン設計に基づいてオファーを割り当てることはできません。ターゲット・セルの照合とリンクで行われたオファーの割り当てをプロセス・ボックスで手動で変更することはできません。Marketing Operations の TCS に対してオファーの変更を行い、公開することはできます。Marketing Operations の TCS で行った公開済みの変更を反映するには、フローチャート・セルをリンク解除してからリンクする必要があります。
APAR PO06375、266718	同じフローチャートに同時に (またはほぼ同時に) 2 つのプラットフォーム・スケジュールを作成すると、どちらかのスケジュールの `unica_acsvr` プロセスが完了しません。
PMR 247194, 267729	Campaign で IBM Cognos からの「キャンペーン別のオファー・パフォーマンス・サマリー」レポートが正しく形成されませんでした。
APAR PO06249、270510	IBM Optimize セッション・レポートで使用されているリソースが多いと、アプリケーションのパフォーマンスに問題が生じます。
APAR PO04314、270517	同じフローチャートで別のブランチを実行した後に、構成されていないプロセス・ボックスが構成されていて有効であるように表示されます。
PMR 269269, 270518	ユーザーがスナップショット・プロセスを使用して、NULL 値が含まれるユーザー定義フィールドをデータベース・テーブルにエクスポートすると、フローチャートでエラー 10404 が発生します。
PMR 223042, 270519	新規フローチャートのメール・リストに複数の入力プロセス・ボックスを追加し、追加の入力セルを選択するように構成した場合に、処理タブにメール・リストの最初のセルしか入力として表示されません。この時点でフローチャートを保存すると、フローチャートは応答を停止します。
APAR PO06172、270615	フローチャートに 2 つの抽出プロセスが構成されていて、2 番目の抽出プロセスにフランス語のアクセント付き文字を使用した名前のユーザー定義フィールドが含まれている場合、IBM Campaign の抽出プロセスは DB2 データベースへの書き込みを実行しません。
APAR PO06787、270743	HTTPS URL を使用して、Campaign を IBM SPSS Modeler Advantage エンタープライズ・マーケティング管理エディションに接続できません。

表 6. *Campaign* の修正された問題 (続き)

ID	修正された問題
PMR 270718, 271650	IBM Campaign で SSLv2 プロトコルと SSLv3 プロトコルを使用できます。
APAR PO07062、271672	Internet Explorer および Chrome ブラウザーを使用する場合、ユーザーが新規または定義済みの cron 式に基づいてスケジューラーをセットアップすると、スケジューラーが 2 回定義されます。
APAR PO04314、DEF 178977	同じフローチャートで別のブランチを実行した後に、構成されていないプロセス・ボックスが構成されていて有効であるように表示されます。
APAR PO04374、DEF 180108	ターゲット・セル属性のドロップダウン・メニューのオートコンプリートが機能しません。
APAR PO05188、DEF 195946	Linux サーバーで sudo を使用して IBM Campaign リスナーを開始することができません。
APAR PO05593、DEF 204777	DB で新しく作成されたテーブルが、「ソース・テーブル」ドロップダウンの最後に表示されます。
APAR PO05664、DEF 206862	フローチャートの名前に + 符号が含まれていると、フローチャートのスケジューリングが失敗します。ユーザーはキャンペーン名、フローチャート名、スケジュール名に正符号、ドル記号、コンマを使用できません。
APAR PO05724、DEF 210545	空のレコードが含まれているフラット・ファイルの動作が、選択プロセス・ボックスと抽出プロセス・ボックスで異なります。
DEF 213525	Campaign ユーザー・データベース HP Vertica: テーブルからブール・データ型のデータをエクスポートする際にエラーが発生します。
APAR PO05898、DEF 215998	フランス語とイタリア語のユーザーの場合に、「サンプル・サイズ計算」ポップアップ・ウィンドウの最小値と最大値が明滅します。
APAR PO05977、DEF 217550	言語をイタリア語に設定してプロセス・ボックスを開くと、「ソース」タブの大/小文字が正しく表示されません。
APAR PO06031、DEF 218629	IBM Campaign の「テーブル・マッピング」画面のデータ・ソース列の幅を長くすることができません。
APAR PO06151、DEF 221652	英語以外のロケールのユーザーの場合、永続的なユーザー定義フィールドが IBM Campaign フローチャートのブランチで維持されません。注: この修正は、同じ言語設定でフローチャートを作成および編集するユーザーに適用されます。
DEF 222087	Campaign Web アプリケーションの他のクラスター・ノードで、オファー・フォルダーが複製されません。
APAR PO06240、DEF 223861	選択プロセス・ボックスで入力として取得されたテーブルをユーザーが再マップするとき。また、Campaign テーブル・マッピングでテーブル名を変更した場合にテーブルを再マップするとき。
DEF 224257	Campaign DeepSearch: 説明を編集した後に、前の説明を使用して検索できます。
APAR PO05794、DEF 225338	選択プロセス・ボックスで、式に指定した条件が保持されません。
DEF 225777	10.0 の E メール・プロセス・ボックスの問題。
DEF 225779	10.0 のプッシュ・プロセス・ボックスの問題
APAR PO06314、DEF 225802	ユーザーが「選択」の「式」の値フィールドの特定の値の上にマウス・ポインターを移動するとき
APAR PO06217、DEF 225929	「コンタクト履歴に記録 (Log To Contact History)」オプションを無効にした後でも、コンタクト履歴がすべて削除されます
APAR PO06375、DEF 227155	同じフローチャートに同時に (またはほぼ同時に) 2 つのプラットフォーム・スケジュールが作成された場合

表 6. *Campaign* の修正された問題 (続き)

ID	修正された問題
APAR PO06669、DEF 227370	DEF: GSKit ファイル/ユーティリティーがインストールされていない場合に、Campaign インストール・ログ・ファイルにエラー・メッセージが追加されません。
APAR PO06404、DEF 227723	複合オーディエンスのある入力テーブルを使用し、IBM Campaign サーバーの代わりにターゲット・データ・ソースをデータベースとして選択すると、抽出プロセス・ボックスが失敗します。
APAR PO06404、DEF 227723	複合オーディエンスのある入力テーブルを使用し、(Campaign サーバーの代わりに) データベースをターゲット・データ・ソースとして選択すると、抽出プロセス・ボックスが失敗します。
APAR PO06418、DEF 228246	最適化されたリストを抽出プロセス・ボックスで使用する、最適化後のフローチャートを実行すると、詳細コンタクト履歴の「オーディエンス」フィールドに正しくない値が挿入されます。
APAR PO05281、DEF 228262	モデル・プロセスとスコア・プロセスの間の点線を削除すると、フローチャートがエラー 10404 で異常終了します。
APAR PO06372、DEF 228383	最適化プロセス・ボックス内の既存の割り当て済みのオファーが、リンクされているターゲット・セルを変更した後に更新されません。
APAR PO06366、DEF 228565	代替実行の場合、特定のフローチャートの実行が「無効な月 (Invalid month)」エラーで失敗します。
DEF 228838	新しいフローチャートにテンプレートを貼り付けると、エラー 11107 が表示されます。
APAR PO06410、DEF 228846	リスナー・クラスター環境で、スケジュールされたフローチャートがエラー 1783 で失敗します。
APAR PO03936、DEF 229409	非正規化テーブルを使用する、ネストされたセグメント・プロセスの場合
APAR PO04969、DEF 229505	フローチャートで「選択」が使用されていると、eMessage プロセス・ボックスでエラー「変えられないソート順序が検出されました (Incommutable sort order detected)」が発生します
APAR PO06331、DEF 230045	ポイント & クリックのクエリー・ビルダー内
APAR PO06480、DEF 230070	新しいフローチャート内
APAR PO06671、DEF 230129	特殊文字を含むフローチャートのスケジューリング中に、問題が発生します。
APAR PO06063、DEF 230233	IBM Campaign でテーブル・マッピングを実行中
APAR PO05853、DEF 230234	メール・リストから 50 以上のセグメントの入力を受信している間、「コントロール・セル」ドロップダウン・スクロール・バーが表示されません。
APAR PO05977、DEF 230235	言語をイタリア語に設定してプロセス・ボックスを開くと、「ソース」タブの大/小文字が正しく表示されません。
APAR PO05839、DEF 230236	右側にメーリング・リンクが表示されません
APAR PO06198、DEF 230237	テーブルをマップし、予約語「TARGET」を使用して名前を付けると、選択プロセス・ボックスの UI にテーブル列が表示されません。
PMR 229976、DEF 230239	特殊文字を含むフローチャートのスケジューリングが失敗し、特殊文字が正しく表示されません。

表 6. *Campaign* の修正された問題 (続き)

ID	修正された問題
APAR PO05794、DEF 230241	選択プロセス・ボックスで、式に指定した条件が保持されません。
APAR PO06097、DEF 230245	抽出プロセス・ボックスを含むコピーされたフローチャートが、大規模なテーブルへのアクセス中に一時停止したままになります。
APAR PO06276、DEF 230452	データ・ソース内のテーブル数が多いと、ドロップダウン・リストにテーブル名が表示されるときのテーブル・マッピングのパフォーマンスが低下します。
APAR PO05876、DEF 230454	抽出の出力プロセス・ボックスで同じユーザー定義フィールドをさまざまな名前で使用すると、名前を追加するときにそれらの名前が表示されません。
APAR PO06206、DEF 230463	カスタム・セル属性とキャンペーン属性の IBM Campaign 生成フィールドが、すべてのプロセス・ボックスで選択項目として表示されません。
APAR PO05762、DEF 230475	「テキスト・ビルダー」モードで「値」フィールドに追加した余分な括弧が、「ポイント & クリック」モードに変更すると表示されません。この問題は修正されました。
APAR PO06097、DEF 230476	抽出プロセス・ボックスを含むコピーされたフローチャートが、大規模なテーブルへのアクセス中に一時停止したままになります。
APAR PO05715、DEF 230481	フラット・ファイル・フォルダーに多数のファイルがある場合にフラット・ファイルのマッピングを行うと、パフォーマンスの問題が発生します。
APAR PO05775、DEF 230542	UserSessionThreadLocal オブジェクトの生成のために、eMessage を長時間実行しているときに Campaign でメモリー不足が発生します。
DEF 230552	Safari ブラウザーの使用中にテンプレート・メニューがタイムアウトになり、テンプレート・メニューにテンプレートがロードされない可能性があります。
APAR PO05875、DEF 230554	フローチャートのプロセス・パレットがランダムです。
APAR PO06342、DEF 230684	ドイツ語ロケールの場合、10.0 に Campaign フィックスパックをインストールできません。
APAR PO05810、DEF 230685	次のアクションを実行すると、セグメントの名前とサイズの表示に悪影響があります: 照会によりセグメントを開く
APAR PO05775、DEF 230686	UserSessionThreadLocal オブジェクトの生成のために、eMessage を長時間実行しているときに Campaign でメモリー不足が発生します。
APAR PO05708、DEF 230687	IN を含む抽出プロセス・ボックス
APAR PO05332、DEF 230688	ディメンション・テーブルを複数のキー・フィールドでマップし、マッピングを順不同で行う場合、キー・フィールドが正しくマッピングされません。
APAR PO05150、DEF 230689	小さい画面でセル・レポートを開く場合
APAR PO06055、DEF 230690	セグメント・プロセス・ボックスの使用中
APAR PO05496、DEF 230691	一部だけ完成したフローチャートの実行後に、(非同期トリガーの失敗のために) フローチャートが破損します
APAR PO06323、DEF 230692	「ログ」タブのトラッキング・プロセス・ボックスの「追加フィールド」ウィンドウが空です。ユーザーがログに追加のフィールドを指定できません。
DEF 230693	プロセス・ボックス名の小括弧「(」が、セル・レポートで単一の右大括弧「]」として不正確に表示されます。
APAR PO03844、DEF 230694	eMessage メーリングのスケジュール中に、スケジュールされたフローチャート名が表示されません。

表 6. *Campaign* の修正された問題 (続き)

ID	修正された問題
APAR PO06206、DEF 230695	カスタム・セル属性とキャンペーン属性の IBM Campaign 生成フィールドが、すべてのプロセス・ボックスで選択項目として表示されません。
APAR PO06439、DEF 230696	アップグレード後に Teradata 接続を確立できません。
APAR PO05915、DEF 230697	ユーザーがメール・リスト・プロセス・ボックスのエクスポート列内のフィールド (パーソナライズ) を削除する場合
APAR PO04023、DEF 230698	テキスト・オーディエンス・レベルを操作中に、コンタクト履歴にレコードを書き込もうとすると、Campaign のエラーが返されます。
APAR PO06660、DEF 231110	Campaign でユーザーがディメンション・テーブルを再マップできない状況があります。
DEF 232841	ユーザーがセッション・フローチャートの名前を変更できません。
APAR PO05937、DEF 232842	エラー「コントロール・セルがターゲット・セルにリンクされていません」が発生します。1 つのターゲット・セルと 1 つのコントロール・セルをリンクしてサンプル・プロセス・ボックスに割り当ててから、TCS の他の 2 つのセルをサンプル・セルにリンクして新しいサンプルをメール・リストに付加します。メール・リスト内で、このリンクに対する内容を変更しないと、点線になります。単にメール・リストを開き、TRGT1 と CTRL1 のみが表示されていることを確認してください。フローチャートを保存します。今度は、最初のサンプルを開き、2 番目のセル CTRL1 をリンク解除します。リンクを解除してもリンクされたものとして表示されます
PMR 229343、DEF 232916	Chrome とエンタープライズ・モードの不具合 (メール・リストのパフォーマンスの問題)。
PMR 228421、DEF 232919	TCS: セグメント列がピン留めされません。
APAR PO06424、DEF 232920	ディメンション・テーブルを再マップするときのキー・フィールドの問題。
APAR 232283、DEF 232921	プロジェクト名に無効な XML 文字が含まれている場合には、エラーが発生します。「属性「name」の値の中に無効な XML 文字が見つかりました。要素は「Flowchart」です。」というメッセージが表示されます。
APAR PO06336、DEF 232926	「抽出の最適化 (Optimize Extract)」プロセス・ボックスがセッション全体からレコードをロードします。
DEF 233266	選択プロセス・ボックスでテーブルをマッピング中に、データベースに新しく作成されたテーブルが、アルファベット順のリスト内に表示されずに、「ソース・テーブル」ドロップダウン・ボックスの最後に表示されます。
APAR PO06641、PO05664、DE233595、206862	フローチャートの名前に + 符号が含まれていると、フローチャートのスケジューリングが失敗します。ユーザーは正符号を使用できません
APAR PO06647、DEF 233749	E メール・メッセージのプレビュー・ページに「閉じる」ボタンが表示されません。ページが応答しないこともあります。
DEF 234038	ユーザーは、数字で始まるテーブルをマップできません。修正を適用すると、数字および下線 (_) が切り捨てられ、メッセージが表示されます。これでユーザーはテーブルをマップできるようになります。
APAR PO05169、DEF 234420	メール・リスト・プロセスのパラメーター・タブにラベルが表示されません。

表 6. *Campaign* の修正された問題 (続き)

ID	修正された問題
APAR 218113、DEF 235306	ユーザーがテンプレートをコピーしてテンプレート・ライブラリーに貼り付けると、スナップショット・プロセスがテーブル・マッピングのリスト内の最初のテーブルにマップされます。
APAR PO06728、DEF 235405	ユーザーは、日付タイプのオファー属性に 1970 より前の日付を選択できません。
DEF 237170	E メール・フィールドに長いテキストを使用できません。
APAR PO06031、DEF 238205	IBM Campaign のテーブル・マッピング画面で、データ・ソース列の幅を長くすることはできません。
APAR PO06623、DEF 238451	「選択ボックス」タイプのカスタム属性にアポストロフィを含むストリング値が指定されている場合、ユーザーはキャンペーン・ターゲット・セルを編集できません。
APAR PO06777、DEF 238517	グローバル抑制セグメントでレコードが値 0 (ゼロ) に更新される - グローバル抑制セグメントをオーディエンスに適用すると、戦略的セグメントのデータから NULL レコードが出力されます。この問題はローカル環境で再現できます。
DEF 238519	データ型が number(x) で、実際のフィールドに最大桁数 x の負の数値 (浮動小数に変換される) が含まれている場合、抽出プロセスのデータベース・ローダーがレコードをドロップします。
APAR PO06811、DEF 238544	セグメントを選択した後に選択プロセス・ボックスのメニューが最新表示されず、「選択基準」値が「なし」として表示されます。
APAR PO06817、DEF 238723	Campaign の「エラー」ページに表示されるコード・コメントが多すぎます。
APAR PO06844、DEF 239944	ユーザーはキャンペーンの分析タブからフローチャート・ログをダウンロードできません。
APAR PO06849、DEF 240150	IBM Campaign の UA_EMAILCLICK テーブルに、CLICKURL と URLDESCRIPTION の値が NULL として保存されます。
DEF 240758	スケジュールされたフローチャートの実行が前回の実行と重複している場合、クラスター環境ではフローチャートのスケジューラーの実行状況が「不明」と設定されます。
APAR PO06894、DEF 241329	データベース内最適化を有効にした E メール・プロセス・ボックスが異常終了します。
APAR PO06924、DEF 242555	クラスター Campaign リスナー環境で、Partitions/partition1 ディレクトリーが activeSession.udb ファイルに変換されます。
APAR PO06954、DEF 243546	スナップショット・プロセス・ボックスからデータベースにオーディエンス値が書き込まれる際に、生成される CREATE TABLE ステートメントが無効です。
APAR PO07037、DEF 244174	SMS プロセス・ボックスのフィールド・マッピングが正しくないために、SMS プロセス・ボックスとプッシュ・プロセス・ボックスが失敗します。
APAR PO07079、DEF 246768	テーブル・マッピングで、複数のドット (.) を含むファイルを使用すると、名前が正しく構文解析されません。
DEF 248942	カスタム・セキュリティー・ポリシーを構成した場合に、カスタム・セキュリティー・ポリシー内で取り消した権限が、グローバル・ポリシーを使用して作成されたフォルダーに不正確に適用されます。
DEF 249088	Campaign で IBM Cognos からの「キャンペーン別のオファー・パフォーマンス・サマリー」レポートが正しく形成されませんでした。注: この問題は、コンタクト履歴のみを取り込むユース・ケースでは修正されていますが、詳細コンタクト履歴を取り込むパラメーター化されたオファーでは修正されていません。

表 6. *Campaign* の修正された問題 (続き)

ID	修正された問題
DEF 270516	NULL 値を含むユーザー定義フィールドがスナップショット・プロセス・ボックスでデータベース・テーブルにエクスポートされると、フローチャートの実行時に 10404 エラーが発生します。
PMR 228421、DEF 73523	「カスタム属性の定義」編集ページの「ソース・リスト」値がアルファベット順にソートされません。
PMR 238408、DEF 241311	UA_Email_Bounce が Event_Name および Bounce_Type を取り込みません。
APAR PO06981、DEF 244290	選択ボックスで Unicode データに対する条件として誤った SQL が生成されます。
APAR PO06873、DEF237008	IMC の Campaign オーディエンス ID 列に NULL オーディエンス値が取り込まれます。
APAR 230602、Story 213165	Campaign のアップグレード前ユーティリティーは、リスナー・クラスター・モード環境のヘルス・チェックをサポートします。Campaign アップグレード前ユーティリティーの実行が以下のようなエラーで完了します。Campaign 構成ファイルを入力 (絶対パスまたは相対パスを指定) してください。

第 4 章 IBM Campaign 10.1 の既知の問題

Campaign 10.1 には、次の既知の問題があります。

表 7. *Campaign* の既知の問題

ID	既知の問題

276955	配置するために EAR ファイルを作成中に、致命的なエラーが発生し、メッセージが共通インストーラー・ログに追加されます。このメッセージは無視して構いません。このエラーが発生しても、EAR ファイルは正常に配置されます。
	
	以下のエントリーが共通インストーラー・ログに記録されます。
	
	`Custom Action: com.unica.install.ia.custom.StrIndexAndPieces`
	
	`Status: ERROR`
	
	`Additional Notes: ERROR - Unexpected Fatal Error in Class: com.unica.install.ia.custom.StrIndexAndPieces.install()`

13460	メール・リスト・プロセスの「実現」タブの「ファイルにエクスポート **(Export to File)**」オプションがチェックされていないと、「サマリー・ファイル」オプションが、有効になるべきではないのに有効になります。
175825	`defaultBehaviorWhenOutputToFile` を**「新規ファイル作成」**に設定しても、初めて新規出力 (エクスポート) ファイルを選択する場合にしか正常に動作しません。既存の出力ファイルを変更して新規出力ファイルを選択しようとすると、オプション**「データ追記」**がデフォルトで選択されます。 これは、手動で**「新規ファイル作成」**に変更できます。
APAR 198495、PO05293、198494	カスタム・マクロについて、保管されたオブジェクト (カスタム・マクロ、フローチャート・テンプレート、保管されたユーザー定義フィールドなど) に対して割り当てられている権限が「付与されていない (Not Granted)」のユーザー・アカウントが、カスタム・マクロを使用して、権限に関係なく、すべての保管オブジェクトの編集、削除、追加、移動を行うことができます。
204347	LARGE_DATA: ブラウザーの異常終了 - 700 個のセグメントがある「メール・リスト」プロセス・ボックス - 各セグメントに 512 個のオファーで保存します。
211253	複数の列があるファイル・ベースの入力で異なる形式の日付が含まれている場合、日付が正しく読み取られません。
212890	Amazon Redshift ではブール型の列は、テーブル・マッピングで「テスト」フィールド型として認識されます。
220474	ソース・テーブルの列名に ASCII 以外の長い文字 (おそらく UTF8 の 10 x 3 バイトの文字よりも長い文字) が含まれていると、一時テーブルが作成されないためにスナップショット・プロセスが実行されません。
220705	「ディメンション・テーブル」フィールドのプロファイル数が不正確で、プロファイルが進行中でもプロファイル率が 100% と表示されます。
APAR 222047、PO06172、222048	フローチャートに 2 つの抽出プロセスが構成されていて、2 番目の抽出プロセスにフランス語のアクセント付き文字を使用した名前のユーザー定義フィールドが含まれている場合、IBM Campaign の抽出プロセスは DB2 データベースへの書き込みを実行しません。

© Copyright IBM Corp. 1998, 2017

表 7. *Campaign* の既知の問題 (続き)

ID	既知の問題
APAR 225568、PO06304、225572	`temptablepostexecutionsql` は、coremetrics セグメントの選択中には実行されません。
226981	Campaign のインストール時にポートを指定しないと、 Campaign ナビゲーション URL フォーマットと `Campaign/conf/config.xml` Campaign ナビゲーション・フォーマットが誤ったフォーマットになります。
230340	新規のメール・リスト・プロセスで「パラメーター」タブの「発効日」にデータ・フィルターを割り当てた場合、既存の編集したメール・リスト・プロセスと比較して、メール・リスト・プロセスの動作が一貫しない動作になります。メール・リスト・プロセスが出力ログ・ファイルに日時のユーザー定義フィールドを出力しません。発効日パラメーター値を変更すると、メール・リストの実行が失敗することがあります。
230606	メール・リスト・プロセスでフィールドを抽出して使用するフローチャートの場合に、メール・リスト・プロセスの「パーソナライズ」タブの「抽出ノード **(Extract Node)**」の下のフィールドが、プロセスの実行前と実行後で異なります。
231859	Chrome ブラウザーを使用する場合、メール・リスト・プロセスに多数の処理およびオファーが割り当てられていると、「パーソナライズ」タブのロードで応答が返されるまでに約 20 秒かかります。例えば、250 のセルが存在するメール・リスト・プロセスで、セルごとに複数のオファーがあり、オファーごとに複数の属性がある場合などです。
232502	ユーザーが何らかの変更を入力に加えると、メール・リストのパフォーマンスに問題が生じます。変更後に初めてタブを切り替えるときに遅延が発生します。ユーザーが入力を変更してから初めて「処理」タブまたは「プロセス」タブに切り替えると、選択した入力数に応じて約 10 秒から 15 秒の遅延があります。この最初の遅延が発生した後は、入力が変更されるまでは遅延は発生しません。
232835	Campaign アプリケーションを長時間 (数日間) 継続して使用すると、アプリケーションのパフォーマンスに影響します。時により、例外エラー・メッセージが Campaign ページに表示されます。 Campaign Web アプリケーションおよび Campaign リスナーを再始動する必要があります。
238789	Chrome ブラウザーを使用する場合、600 のセルが存在し、セルごとに複数のオファーが割り当てらているメール・リストをユーザーが開くと、アプリケーションが応答を停止します。 Internet Explorer 11 ブラウザーを使用する場合は、メール・リストのプロセス・ボックスに何も表示されません。
APAR 238830、PO06822、238832	役割の割り当てが Campaign で機能しません。カスタム・マクロの作成権限がなく、フォルダー所有者役割や所有者役割に対する権限もなく、フォルダー所有者でも所有者でもないユーザーが、カスタム・マクロを作成できます。
239142	カウント・フィルター演算式が正しくないためにオーディエンス・プロセスが失敗した場合に、ユーザーがフィルター演算式を削除し、条件を追加してオーディエンス・プロセスを再び実行すると、プロセスが失敗します。条件は考慮されず、代わりに前のカウント・フィルター演算式が使用されるために失敗します。オーディエンス・プロセスを正常に実行するためには、オーディエンス・プロセス構成ウィンドウを開き直して、「条件」、「保存」、「閉じる」の順にクリックする必要があります。これで、オーディエンス・プロセスは条件を考慮して正常に動作するようになります。
APAR 243895、PO06966、243897	スペース文字は、プロファイル中に `''` に変換されます。
PMR 223848、245664	複数のユーザーが複数のフローチャートに同時にアクセスすると、関係ないフローチャートが Campaign に表示されます。不適切なフローチャートが表示されているように見えます。
APAR 246662、PO07061、246664	ユーザーがセグメント・クロス・タブの分析レポートを表示した後は、セグメント分析タブが正しく表示されません。

表 7. *Campaign* の既知の問題 (続き)

ID	既知の問題
248007	Hive のパフォーマンス: PRE - 一時テーブルにデータをロードする (抽出) ために実行される単一の INSERT ステートメントを Hive で使用すると、2000 レコードで 19 分かかります。
APAR 267287、PO07170、267288	ユーザーはユーザー定義フィールドまたはユーザー変数のテキストにアポストロフィを追加できません。
269729	英語ロケールで作成された永続的なユーザー定義フィールドがフランス語ロケールで表示されません。
PMR 269280、269765	DB2 データベースで切り捨てが機能しません。 `DeleteAsTruncate` プロパティーは、出力プロセスが `REPLACE TABLE` に構成されている場合に、 Campaign で `TRUNCATE TABLE` を使用するか、それともテーブルからの削除を実行するかを指定します。値が `TRUE` の場合、Campaign はテーブルに対して `TRUNCATE TABLE` を実行します。値が `FALSE` の場合、Campaign はテーブルに対して `DELETE FROM` を実行します。デフォルト値はデータベース・タイプによって異なります。多数のクライアントが Oracle から DB2 に移行しているので、パフォーマンスの違いが非常に目立ちます。 Oracle から DB2 に移行する顧客にとって、スナップショットとメール・リストのパフォーマンスを比較すると大きな違いがあります。
269785	Chrome および Safari ブラウザーでは、ロケールが日本語として設定されている場合、ラベルは「テンプレートの保存」ウィンドウのボタンにオーバーラップします。
270528	ユーザーがテーブル・フィールドを選択し、一致する表が返されなくなる検索フィルターを選択プロセスで適用しても、「使用」ボタンと「プロファイル」ボタンが選択プロセスで有効なままです。
270614	データ・フォルダーを指定して XML として保存されたテーブル・カタログをユーザーがロード/削除しようとすると、エラーが発生します。
270814	ユーザーが「スケジューラー」ページでマウスを使用して「トリガー発生時に」ドロップダウンから値を選択することができません。
271466	オーディエンス・レベルに 2 つのフィールドがある場合に、テーブル・マッピングで 2 番目のフィールドを正しくマップできません。回避策として、ドロップダウンを開き直し、2 番目のフィールドをマップしてください。
271576	WAS 8.5.0.2 に対する Campaign アプリケーションの配置がエラーで終了します。このエラーは無視できます。
271642	コンソール・モードのインストールで、バージョン 10.0 からアップグレードするときに、「**しばらくお待ちください.....**」のメッセージが何度も表示されます。
271676	データベース内最適化のチェック・マークが外されている場合に、DB2 および Oracle データベースの抽出テーブルが削除されません。
272253	500 を超えるテーブルがマップされている場合にユーザーが「テーブル・マッピング」ウィンドウを開くと、Campaign アプリケーションのパフォーマンスが影響を受けます。
273311	Windows 8 OS で Internet Explorer を使用する場合、新規ユーザー定義フィールドの追加中に「ユーザー定義フィールド」ウィンドウが正しく表示されません。
245712、PO07040、273513	クラスター化 Campaign リスナー環境では、個々の `unica_tbmgr.cache` ファイルのバージョン管理/固有性により、パフォーマンスの問題が発生します。
273652	セグメント・プロセスの**最大サイズをゼロ**に設定し、「抽出テーブルの作成」にチェックマークを入れると、サーバー・プロセスがクラッシュします。
2968	ほとんどのウィンドウにホット・キーが実装されていません。 Dojo 実装では、キーボード・ショートカットを使用して一部の機能をアクティブにすることができません。ユーザーはその代わりにボタンをクリックしなければなりません。

表 7. *Campaign* の既知の問題 (続き)

ID	既知の問題
PMR 266519、75262	「前のページに戻る」をクリックすると、ユーザー・インターフェースの表示がゆがむ場合があります。ブラウザーのコントロールではなく製品内のリンクを使用してナビゲートしてください。
ENH 65216	32 文字を超えるユーザー変数は、Campaign フローチャートではサポートされていません。ユーザーが抽出テーブル、一時テーブル、またはデータベース・テーブルを使用してユーザー変数を抽出する場合、ユーザー変数の長さは 32 文字未満でなければなりません。ユーザーが、ユーザー変数を、32 文字を超えるユーザー作成のテーブル列にマップする場合、ユーザー変数の値は 32 文字を超える長さにすることができます。
該当なし	IBM Campaign 10.0.0.1 (10.0.0 FP1) をポート 80 でアプリケーション・サーバー・クラスター環境に配置する場合は、 Campaign ナビゲーション URL にこのポート番号を含めないでください。例えば、`http://<host>.<domain>:80/Campaign` は `http://<host>.<domain>/Campaign` に変更する必要があります。「設定」>「構成」ページの Campaign|navigation の下にある `serverURL` プロパティーの値を変更します。
該当なし	フローチャートの実行時に、エラー「`31606: 履歴テーブルが変更されました (31606:History table are changed)`」が出されてメール・リスト・プロセス・ボックスの構成が解除されます。 1. フローチャートを作成してメール・リスト・プロセスを追加する前に履歴テーブルがマップされていた場合は、問題ありません。 2. ステップ 1 に従わない場合でも、エラーが表示された後に履歴テーブルをマップできます。フローチャートを編集し、プロセス・ボックスを構成すれば、プロセスは実行されます。
該当なし	非 ASCII データを Campaign 8.6 にマイグレーションした後、ターゲット・システムで Campaign フローチャートを開けない場合があります。セッション・フローチャートは正常に開きます。この問題を回避するには、上書きモードでキャンペーンを再度マイグレーションします。これで、フローチャートを開くことができます。
TT 062333	関連付けられた製品に関する情報が、Marketing Operations でオファーに表示されません。製品に関連付けられた Campaign でオファーを作成し、 Marketing Operations にインポートすると、関連付けられた製品に関する情報が Marketing Operations で表示されません。

第 5 章 IBM Campaign 10.1 の既知の制限

Campaign 10.1 には、次の既知の制限があります。

表 *8. Campaign* の既知の制限

ID	既知の制限
11162	一部のダイアログ (大量のデータが含まれないものや、通常使用されないもの) はサイズ変更やサイズの最大化を実行できません。
17202	エラー 19024: セグメント・フォルダーからセグメントが削除された場合に、そのフォルダーを削除できない。フォルダーから削除されたセグメントは、そのフォルダー内で非アクティブなセグメントとして残ります。非アクティブなセグメントを含むフォルダーは、削除できません。これは所定の動作です。
185854	ビッグデータ: MS Windows オペレーティング・システムでは、ユーザー・データ・ソースとして使用する Hadoop ベースの Hive ビッグデータとの Campaign の統合がテストされていません。
18991	同じフローチャートが複数のロケールで編集されている場合、好ましくない動作が引き起こされるおそれがあります。この状態は、言語設定の異なる複数のユーザーが、同じフローチャートを編集する場合にのみ発生します。別のロケールのユーザーによって作成されたフローチャートを、異なるロケールのユーザーが編集してはいけません。好ましくない動作を招くおそれがあるからです。
190621	ビッグデータ: ユーザー・データベースとして Hive ビッグデータを使用する Campaign では、最大 4 階層のベース・レベルおよびディメンション・レベルを使用してユーザー・テーブルをマッピングすることはサポートされていません。ベース・レコード・テーブルを「選択」プロセス・ボックスで 4 つのレベルのディメンション・テーブルとマップし、4 番目のレベルのディメンション・テーブルに基づいて照会をビルドすると、照会はエラー 11528 で失敗します。この問題は、ビッグデータ・ユーザーに影響を与えません。複数のディメンションは必要ないからです。定義上、ビッグデータ・ソースは、Hadoop ノード (HDFS など) 全体に大規模なテーブルのレコードを分散させています。
194095	Redshift データベースで、データを「スナップショット」プロセス・ボックスからエクスポートする際に、「サポートされないタイプのタイムゾーン付きタイムスタンプ (Unsupported type timestamps with time zone)」というエラー・メッセージが表示されます。タイム・ゾーン付きタイム・スタンプは、Amazon AWS ではサポートされない PostgreSQL データ・タイプです。
195581	キャンペーン・フローチャートの実行中にリスナーが異常終了または停止すると、ユーザーはその実行中のフローチャートに UI からアクセスできなくなります。要求はクラスターの別のノードによって処理されますが、このフローチャートにアクセスすると「リスナーのフェイルオーバーが発生しました... (listener failover occurred...)」というポップアップ・メッセージが表示されます。マスター・リスナーを再始動する必要がある場合があります。
222934	拡張検索 UI での検索パフォーマンス: 検索結果が UI に表示されるまでの時間。ページ・サイズが 500 のとき、この時間はやや長くなります。例えば、IE11 で約 30 秒かかります。 10 (デフォルト)、25、50、100 などの他のページ・サイズでは、パフォーマンスは良好です。
232032	リスナーをクラスター化した場合、ユーザーは IBM Campaign リスナーを 1 つのサーバー (マシン) で 1 つのみ開始できます。

© Copyright IBM Corp. 1998, 2017

表 8. *Campaign* の既知の制限 (続き)

ID	既知の制限
PMR 243195, 244148	Campaign でギリシャ語文字 A および B を含む列をプロファイルすると、A のみが、レコードの総数と一緒にシステムから戻されます。修正を適用すると、大/小文字が違うだけの非英語の文字の一部 (フランス語の é と É など) が、2 つの異なる値としてプロファイルでカウントされます。英語の文字の場合は、大/小文字が違うものとしてカウントされません。
244482	Campaign - Marketing Operations 統合が有効な場合は、深い検索を実行すると、Marketing Operations プロジェクトで作成したすべての Campaign がリストされます。Marketing Operations - Campaign 統合が有効な場合に、Marketing Operations プロジェクトで作成した Campaign は、 Campaign のリスト・ページにリストされず、Marketing Operations プロジェクトのリスト・ページにしか表示されません。 Marketing Operations にアクセスする権限を持たないユーザーは、深い検索の結果から、Marketing Operations プロジェクトで作成したキャンペーンにアクセスすることができます。
248943	ユーザー・プロファイル・データベースで同期フィールド以外のフィールドを変更 (オーディエンス・レコードのテーブル列の値を変更) した後に、ユーザーが再度 E メール・プロセスを実行すると、Campaign フローチャート・ログに DUPLICATES パラメーターとして Engage から負の数が返されます。
該当なし	ビッグデータ: フローチャート内のプロセス・ボックスに対して UPDATE 操作を実行するには、ACID プロパティーをサポートするように HIVE テーブルがトランザクション・テーブルとして構成されている必要があります。これは、HIVE バージョン 0.14 で導入された主要機能です。
該当なし	IBM WebSphere Application Server を使用して IBM Interact を構成する場合: JDK 1.7 を使用するように IBM WebSphere JVM を構成する必要があります。 IBM WebSphere Application Server 8.5.5.x に JDK 1.7 および HTTPS 通信を構成する場合は、 IBM JAVA SDK バージョン 7.0.8.10 以降を使用する必要があります。
該当なし	未加工 SQL 照会で複数の SQL ステートメントを使用することは、ビッグデータのユーザー・データ・ソースでは現在サポートされていません。関連情報については、IBM Knowledge Center の「Hive 照会言語への準拠」を検索してください。
該当なし	ダイアログの動作: フィールドをアクティブにしたり、フィールド値を変更したりするために 2 回クリックする必要がある場合があります。
該当なし	`Campaign|monitoring` の `monitorEnabledForEmessage` 構成プロパティーは現在使用されていません。
該当なし	関連製品に関する制限: IBM Marketing Operations からオファー管理を行う場合は、製品 ID をオファーに関連付ける「関連製品」機能を使用できません。
該当なし	メール・リスト・プロセスでのユーザー定義フィールドからの結果が空であるか、または正しくない。これが発生するのは、値が変わる生成フィールド (UCGF) を呼び出すユーザー定義フィールドが使用されるプロセス・ボックスに限られます。 メール・リストのユーザー定義フィールドでは、UCGF が定数でない場合に UCGF を使用しないでください。また「パラメーター」タブから、オファー属性にデータを設定するために UCGF を呼び出すユーザー定義フィールドを作成しないでください。 詳しくは、次の技術情報を参照してください。http://g01zciwas018.ahe.pok.ibm.com/support/dcf/preview.wss?host=g01zcidbs003.ahe.pok.ibm.com&db=support/swg/istech.nsf&unid=C4A93DC0ED188D6985257A6B00699C45&taxOC=SSCKNRB&MD=2012/08/31%2015:08:35&sid=

表 *8. Campaign* の既知の制限 (続き)

ID	既知の制限
該当なし	Campaign 生成フィールド (UCGF) をプロファイルしても、正しい結果が生成されません。一部の UCGF の値は、セルまたは処理されるオファーに依存します。セル関連の UCGF の場合、プロファイル中は最初のセルに関連付けられた値だけが表示されます。
該当なし	ターゲット・セル・スプレッドシートを開いたときに、カスタム・セル属性のデフォルト値が表示されない。デフォルト値は、最初表示されませんが、使用されます。ターゲット・セルのスプレッドシートでカスタム・セル属性をクリックするか開いて編集することにより、値を表示したり変更したりすることができます。
該当なし	`UA_UsrResponseType.Name` フィールドに、左括弧とそれに続く単一引用符とを含めることができません。
該当なし	複数のデータ・ソースを同一の物理データベースにマップする場合、データ・ソースごとに固有の `TempTablePrefix` を使用する。 Campaign 内の複数のデータ・ソースを同一の物理データベースにマップし、それらのデータ・ソースのうちの 2 つ以上に同じ `TempTablePrefix` を使用すると、孤立した一時テーブルを削除するためにクリーンアップ・ユーティリティーを使用したときに、実際には別の Campaign データ・ソースから定義された適正な一時テーブルであるのに、孤立した一時テーブルであるように間違って識別してしまう場合があります。 削除された一時テーブルがあっても、関係するフローチャートを再実行するとその一時テーブルは自動的に再作成されますが、ベスト・プラクティスとして、複数のデータ・ソースを同一の物理データベースにマッピングする場合は、データ・ソースごとに固有の `TempTablePrefix` を使用してください。 Campaign で定義されるデータ・ソースがデータベース内の別のスキーマにマップされる場合、もう 1 つの解決策は、クリーンアップ・ユーティリティーを実行するデータベース・ユーザーが、同じデータベースの別のスキーマのテーブルをドロップする権限を持たないようにすることです。
161323	「**IBM Marketing Platform**	セキュリティー	ログイン」メソッドが「**Windows** 統合ログイン」または「**Web** アクセス制御」に設定されている場合、キャンペーン・ユーティリティーにログインしようとすると、「ログインに失敗しました。エラー 10553」というエラーが発生する可能性があります。この問題を回避するため、キャンペーン・ユーティリティーを使用する前に、ログイン・タイプを「**LDAP**」または「**IBM Marketing Platform**」に変更してください。
176377	ユーザー DB の DB2 10.5 BLU: Campaign データ・ソースの一時テーブルに索引付けの要件がありません。 DB2 10.5 (BLU 機能が ON) では、Campaign で索引付けが必要ありません。 Campaign には、データ・ソース用のプロパティーがあります。例えば、TempTablePreTruncateRunScript、TempTablePostExecutionSQL、PostTempTableCreateRunScript などで、その中で SQL やスクリプトを使用してユーザー・データベース・テーブルに索引を作成できます。 DB2 10.5 をカスタマー・データベースとして使用していて、BLU 機能が ON になっている場合、これらの一時テーブル・プロパティーを構成する必要はありません。
201,968,200,241	フローチャートで 2 つのプロセス・ボックスを非常に近くに移動させると、接続矢印の向きが変わります。この制限は、矢印のビジュアル表示に影響します。プロセス・データ・フローには影響ありません。これを回避するには、2 つのプロセス・ボックスの距離を離して、矢印が正しい方向を向くようにします。

表 *8. Campaign* の既知の制限 *(*続き*)*

ID	既知の制限
211293	IBM Campaign で、組み込みマクロ Current_Date() を Hive 1.2 ベースの Big Data インスタンスに対して実行するとエラーになります。 Hive ODBC ドライバーは CURRENT_DATE マクロによるインターバル値の取得をサポートしていません。例えば、以下の照会を実行すると Hive エラーになります。 SELECT DISTINCT customerid FROM Customer_date WHERE ((Customer_date.my_date_mmdyyyy - CURRENT_DATE()) >= 7) エラー: Hive 2 内部エラー: interval_day_time 型からの変換はサポートされません。 回避策: Hortonworks を使用する Hive に対する RAW SQL 照会で CURRENT_DATE 関数を使用するには、以下の形式で SQL を実行します。 SELECT DISTINCT customerid FROM Customer_date WHERE (current_date() - my_date_mmdyyyy) = interval '0 0:0:0' day to second
213088	保護された環境に IBM Campaign がインストールされていても無保護の環境に IBM Cognos がインストールされている場合、 Microsoft Internet Explorer 11 を使用するとき、Cognos レポートは表示されません。回避策: IBM Campaign が HTTPS で構成されている場合、IBM Cognos も HTTPS で構成します。
217488	Campaign でローダー・スクリプトをトリガーするまでは、IBM は Redshift 用のデータベース・ローダーをサポートできます。ローダー・スクリプトを実行する際の問題は、IBM のサポート対象外です。

223716	HTTP 動詞の改ざんを使用する認証バイパス
	
	HttpVerbFilter.class パッチを適用する代わりに、以下の回避策を使用してアプリケーションのセキュリティーを確保できます。
	
	以下の手順を実行して web.xml を更新します。
	1. Web アプリ・タグを更新して、xsd バージョンを 3.0 に設定します。
	`<web-app xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xmlns="http://java.sun.com/xml/ns/javaee" xsi:schemaLocation="http://java.sun.com/xml/ns/javaee http://java.sun.com/xml/ns/javaee/web-app_3_0.xsd" id="Platform" version="3.0" metadata-complete="true">`
	2. 以下を web.xml に追加します。
	`<!--[start] WhiteList Http Verbs --> <security-constraint> <web-resource-collection> <web-resource-name>Unica_WhiteList_Http_Verbs</web-resource-name> <url-pattern>/*</url-pattern> <http-method-omission>GET</http-method-omission> <http-method-omission>POST</http-method-omission> <http-method-omission>TRACE</http-method-omission> <http-method-omission>PUT</http-method-omission> <http-method-omission>DELETE</http-method-omission> <http-method-omission>PATCH</http-method-omission> <http-method-omission>OPTIONS</http-method-omission> <http-method-omission>HEAD</http-method-omission> </web-resource-collection> <auth-constraint/> </security-constraint> <!--[end] WhiteList Http Verbs -->`

第 6 章 IBM Campaign Reports Package

Campaign Reports Package は、キャンペーン、オファー、およびセルのパフォーマンスを追跡するために使用できるレポート・スキーマを提供します。Reports Package を使用するには、Campaign が IBM Cognos と統合されている必要があります。

詳しくは、IBM Marketing Platform に付属の「*IBM Marketing Software Reports* インストールおよび構成ガイド」を参照してください。

IBM Campaign Reports Package には、以下の項目が含まれています。

- インストール時に IBM Marketing Platform に登録されたスキーマ。これらは、製品のレポート・スキーマを表す属性とメトリックを記述したもので、以下のものが含まれています。
  - レポート・スキーマの基礎となる基本スキーマ (カスタム属性なし)
  - Campaign 用に事前構成されたカスタム属性に依存する、大部分の基本スキーマのカスタム・バージョン
  - 新しいスキーマを作成するために使用できるテンプレート
- IBM Cognos BI サーバーに配置される、IBM Cognos のカスタマイズ可能なモデルとレポート
- IBM Cognos モデルとレポートについて説明した参考資料。これらの資料はディレクトリー `ReportsPackCampaign¥cognos10¥CampaignDocs` にあります。

Campaign レポートは、1 つのデータ・ソース、すなわち Campaign システム・テーブルからデータを取得します。

レポート・スキーマ

以下のレポート・スキーマが用意されています。

- 「キャンペーン・ビュー」では、Campaign システム・テーブルの標準属性ビューを見ることができます (キャンペーン、オファー、セルなど)。
- 「キャンペーン・カスタム属性」は、キャンペーン、オファー、およびセルのカスタム属性に関するレポートを作成するためのものです。
- 「キャンペーン・パフォーマンス」は、全期間またはさまざまな期間 (何日か、何カ月かなど) にわたって、キャンペーン・レベルで開始されるパフォーマンス測定を表示するレポートで使用します。
- 「オファー・パフォーマンス」は、全期間またはさまざまな期間 (何日か、何カ月かなど) にわたって、オファー・レベルで開始されるパフォーマンス測定を表示するレポートで使用します。
- 「キャンペーン・オファー・レスポンスの詳細」は、レスポンス・タイプに基づく、キャンペーンとオファーのレスポンスを示すレポートで使用します。
- 「キャンペーン・オファーのコンタクト・ステータスの内訳」は、コンタクト・ステータスに基づく、キャンペーンとオファーのコンタクトの測定に使用します。

© Copyright IBM Corp. 1998, 2017

カスタム・スキーマでは、上記にリストされたスキーマの最後の 5 つを拡張して、デフォルト、事前構成済みのレスポンス・タイプ、カスタム属性などを組み込みます。

テンプレート

追加のオーディエンス・レベルがある場合は、それらのために、以下のテンプレートを使用して追加のレポート・スキーマを作成することができます。

- キャンペーン・ビュー
- キャンペーン・カスタム属性
- キャンペーン・パフォーマンス
- オファー・パフォーマンス
- キャンペーン・オファー・レスポンスの詳細
- キャンペーン・オファーのコンタクト・ステータスの内訳

レポート

Reports Package には Cognos サンプル・レポートが入っており、それらのレポートには、キャンペーンまたはオファーの「分析」メニューまたは「分析」タブからアクセスできます。またレポートは、ダッシュボード上のポートレットに表示することも可能です。

以下に示すキャンペーン固有のサンプル・レポートは、キャンペーンの「分析」タブから取得できます。

- キャンペーン詳細オファー・レスポンスの詳細
- オファー別のキャンペーン収支サマリー (実績)
- 月単位のキャンペーン・オファー・パフォーマンス
- セル別のキャンペーン・パフォーマンス・サマリー
- セル別のキャンペーン・パフォーマンス・サマリー (収益を含む)
- オファー別のキャンペーン・パフォーマンス・サマリー
- セルおよびオファー別のキャンペーン・パフォーマンス・サマリー
- セルおよびオファー別のキャンペーン・パフォーマンス・サマリー (収益を含む)

以下に示すオファーのサンプル・レポートは、オファーの「分析」タブから取得できます。

- 「What If」オファー収支サマリー
- 日単位のオファー・パフォーマンス
- キャンペーン別のオファー・パフォーマンス・サマリー

以下に示す、オブジェクト間で共通のサンプル・レポートには、Campaign の複数のオブジェクトに関する情報が含まれています。これらのレポートは、Campaign 分析ページから取得できます。

- 「What If」オファー収支サマリー
- キャンペーン詳細オファー・レスポンスの詳細
- オファー別のキャンペーン収支サマリー (実績)
- 月単位のキャンペーン・オファー・パフォーマンス

- キャンペーン・パフォーマンス比較
- キャンペーン・パフォーマンス比較 (収益を含む)
- イニシアチブ別のキャンペーン・パフォーマンス比較
- セル別のキャンペーン・パフォーマンス・サマリー
- セル別のキャンペーン・パフォーマンス・サマリー (収益を含む)
- セルおよびイニシアチブ別のキャンペーン・パフォーマンス・サマリー
- オファー別のキャンペーン・パフォーマンス・サマリー
- オファー別のキャンペーン・パフォーマンス・サマリー (収益を含む)
- セルおよびオファー別のキャンペーン・パフォーマンス・サマリー
- セルおよびオファー別のキャンペーン・パフォーマンス・サマリー (収益を含む)
- キャンペーン・サマリー
- オファー・キャンペーンのリスト
- 日単位のオファー・パフォーマンス
- オファー・パフォーマンス比較
- オファー・パフォーマンス・メトリック
- キャンペーン別のオファー・パフォーマンス・サマリー

以下に示すキャンペーン固有のサンプル・レポート・ポートレットは、ダッシュボード・ページから取得できます。

- キャンペーン奏功率の比較
- キャンペーン投資収益率の比較
- オファー別のキャンペーン収益比較
- オファー・レスポンスの詳細
- オファー奏功率の比較
- 最終 7 日間のオファー・レスポンス

IBM 技術サポートへのお問い合わせの前に

資料を参照しても解決できない問題が発生した場合は、貴社の指定サポート窓口から IBM 技術サポートに問い合わせることができます。問題を効率的に首尾よく確実に解決するために、以下のガイドラインを使用してください。

貴社の指定サポート窓口以外の方は、社内の IBM 管理者にお問い合わせください。

注: 技術サポートは API スクリプトの記述または作成は行いません。API オファリングの実装に関して支援が必要な場合は、IBM 専門サービスにご連絡ください。

収集する情報

IBM 技術サポートに連絡する前に、以下の情報を収集しておいてください。

- 問題の性質についての簡単な説明
- 問題の発生時に表示されるエラー・メッセージの詳細。
- 問題を再現するための詳しい手順。
- 関連するログ・ファイル、セッション・ファイル、構成ファイル、およびデータ・ファイル。
- 製品およびシステム環境に関する情報 (この情報は「システム情報」の説明に従って取得できます)。

システム情報

IBM 技術サポートにお問い合わせいただいた際に、技術サポートではお客様の環境に関する情報をお尋ねすることがあります。

ログインできない問題でなければ、そうした情報の大部分は、インストール済みの IBM アプリケーションに関する情報が表示される「バージョン情報」ページから取得できます。

「バージョン情報」ページにアクセスするには、「ヘルプ」>「バージョン情報」を選択します。「バージョン情報」ページにアクセスできない場合は、アプリケーションのインストール・ディレクトリーにある `version.txt` ファイルを確認してください。

IBM 技術サポートのお問い合わせ先

IBM 技術サポートへのお問い合わせ方法については、「IBM Product Technical Support」の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/open_service_request) を参照してください。

注: サポート要求を入力するには、IBM アカウントを使用してログインする必要があります。このアカウントは IBM カスタマー番号とリンクしていなければなりま

© Copyright IBM Corp. 1998, 2017

せん。アカウントを IBM カスタマー番号に関連付ける方法については、サポート・ポータルの「サポート・リソース」>「ライセンス付きソフトウェア・サポート」を参照してください。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。 IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

© Copyright IBM Corp. 1998, 2017

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
B1WA LKG1
550 King Street
Littleton, MA 01460-1250
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。 IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があり、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式

においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態で提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。 IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

プライバシー・ポリシーおよび利用条件に関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品 (「ソフトウェア・オファリング」) では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。 Cookie とは Web サイトからお客様のブラウザーに送信できるデータで、お客様のコンピューターを識別するタグとしてそのコンピューターに保存されることがあります。多くの場合、これらの Cookie により個人情報が収集されることはありません。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie は無効にできますが、その場合、これらを有効にした場合の機能を活用することはできません。

Cookie およびこれに類するテクノロジーによる個人情報の収集は、各国の適用法令等による制限を受けます。この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人情報を収集する機能を提供する場合、 お客様は、個人情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンド・ユーザーへの通知や同意取得の要求も含まれますがそれらには限られません。

お客様は、IBM の使用にあたり、(1) IBM およびお客様のデータ収集と使用に関する方針へのリンクを含む、お客様の Web サイト利用条件 (例えば、プライバシー・ポリシー) への明確なリンクを提供すること、(2) IBM がお客様に代わり閲覧者のコンピューターに、Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置す

ることを通知すること、ならびにこれらのテクノロジーの目的について説明すること、および (3) 法律で求められる範囲において、お客様または IBM が Web サイトへの閲覧者の装置に Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置する前に、閲覧者から合意を取り付けること、とします。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』 http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』を参照してください。

Printed in Japan

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21